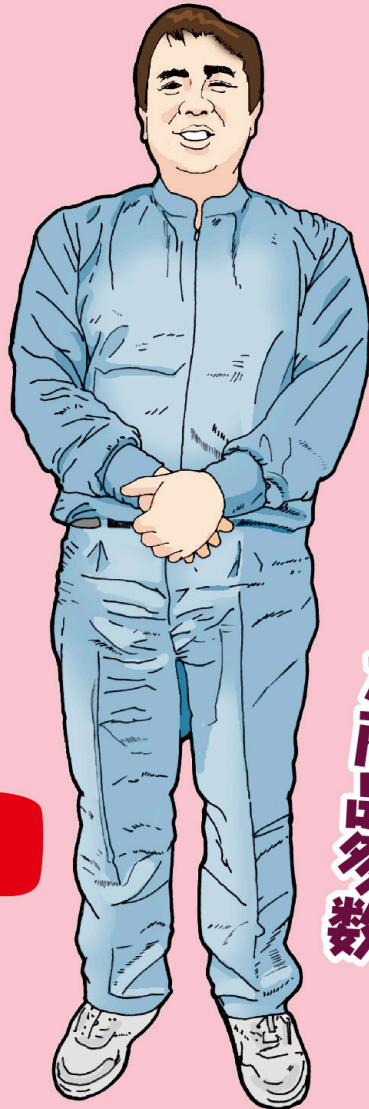


# 株式会社丹生堂本舗

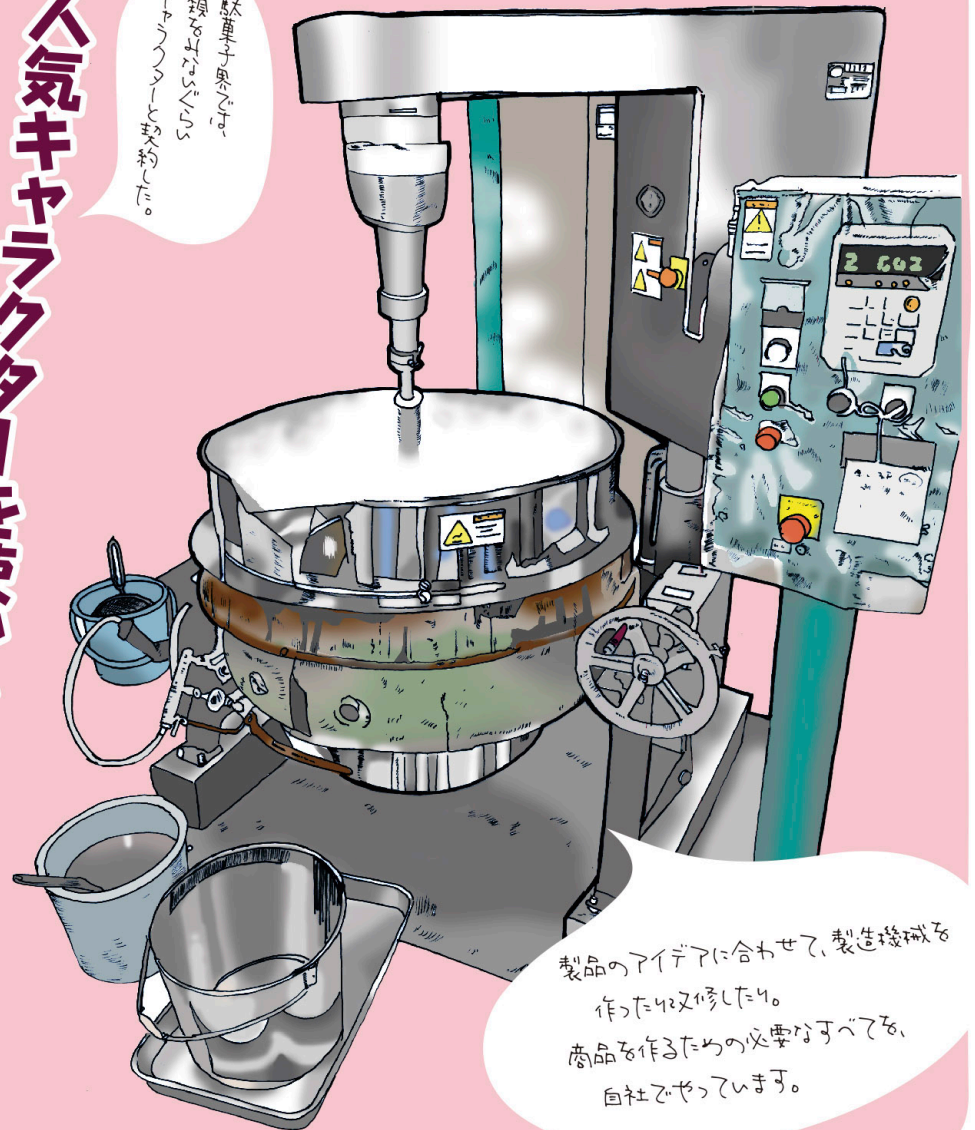
うちの会社が今も大事にしているのは、子どものお小遣いで買える商品で商売する、ということ。主に、駄菓子屋で販売されるものが中心ですが、単価の安い商品に子どもたちの大好きなキャラクターを使うのは、非常にめずらしいことなんです。縁あって、サンリオの方と知り合い、キティちゃん、ポムポムプリンなどキャラクターを使った商品を数多く発売。その後、取れる限りの版権をとろうと「リラックマ」「クレヨンしんちゃん」などと提携。また、チョコレート、ラムネ、グミという一般的な菓子にアイデアを加え、味や形、見た目でも子どもたちを喜ばせる工夫もしています。たとえばラムネは、製造当時の機械を今も使用し、半円の形からセロハンで包んで上部を絞り、フルーツの実のような形を表現しました。チョコレートやラムネの成型技術、製造から包装まで一気にできる生産体制によって、他社にはできない商品を作り出すことができます。もちろん、商品の品質、工場の衛生面も徹底しています。



代表取締役  
**西 勝弘さん**

バンダイ、マミーシア、インテレスシアなど様々な国から買い付けに来られるようになり、同社の製品は「サカイ」が多くのメーカー。

人気キャラクターを使った商品多数



大塚製菓のキャラクターを使った商品多数

製品のアイデアに合わせて、製造機械を作ったり改良したり。商品を作るための必要なすべてを、自社で行っています。

### 子ども向け菓자에特化し 次々とヒット商品を生み出す

チョコレートをサッカーボール柄の包み紙で包んだ「サッカーボールチョコ」。子どもを中心に爆発的にヒットしたが、その商品を世に送り出したのが丹生堂本舗だ。同社は1952(昭和27)年の創業当時、岩おこしや「つくね」という名前の菓子製造を行っていたが、1956(昭和31)年にチョコレート製造の技術を習得。それ以後、子ども向けの菓子の企画に力を入れ、前述のサッカーボールチョコのほかフルーツラムネ、コーラボルトグミなどヒット商品を生み出していった。

丹生堂本舗の製品は、他にはないオリジナリティあふれるものが多い。たとえば、岩おこしを作る時に小麦のパフを入れる技術を応用し、チョコレートにクランチを加えた今までにない商品を開発。今ではクランチチョコは一般的な商品だが、当時、ボテボテしたものをチョコレートに充填しようとするとノズルが詰まってしまう。そこで、スクレーパーを使って成型し冷却するという、自社オリジナルの機械を手作りし、思いどおりのものを完成させた。

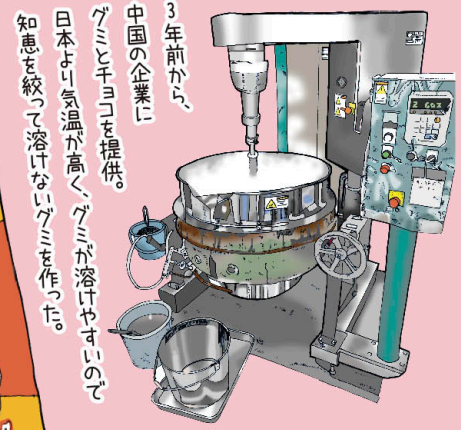
昨今では、OEM(宛先ブランド名製造)の比重が増大しているそう。連日、国内外問わず依頼が殺到しているが、対応しきれずお断りしている状況だとか。それだけ同社の評判が広がっているのは、2つの理由がある。1つ目は、製造から包装まで一貫して行える生産体制。短納期、衛生面の徹底、コスト削減などメリットは大きい。2つ目は、製品のオリジナリティ性。成型の型を自社で製作するので、フォームの異なる商品を作ったり、チョコレートの表面に色を付けたりと自由自在。その評判を聞きつけた中国・深圳(シンセン)の会社から依頼され、日本製の菓子として、同社のNB製品が中国で販売されている。

同社には、営業スタッフはいない。菓子の展示会でも対応スタッフを置かず、商品展示やパネルでの紹介のみ。安易なものに流されるのではなく、良いものを作ることに集中していれば、ほっといても売れるということだ。誠実にものづくりを続けてきた同社の、今後の飛躍が期待される。

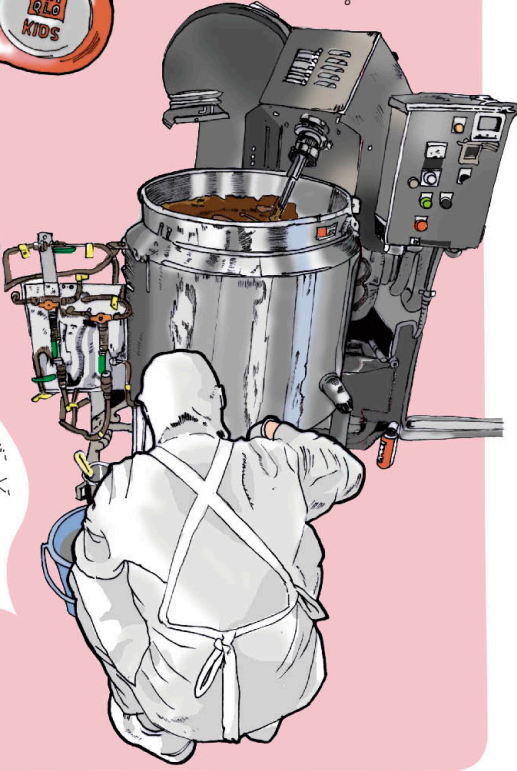
中国に3カ月に1回、1コンテナを送っています。



販路拡大のために、海外への展開を積極的に行っている。特に中国への輸出が増えている。コンテナの数は減っていないが、中国への輸送コストは高くなっている。



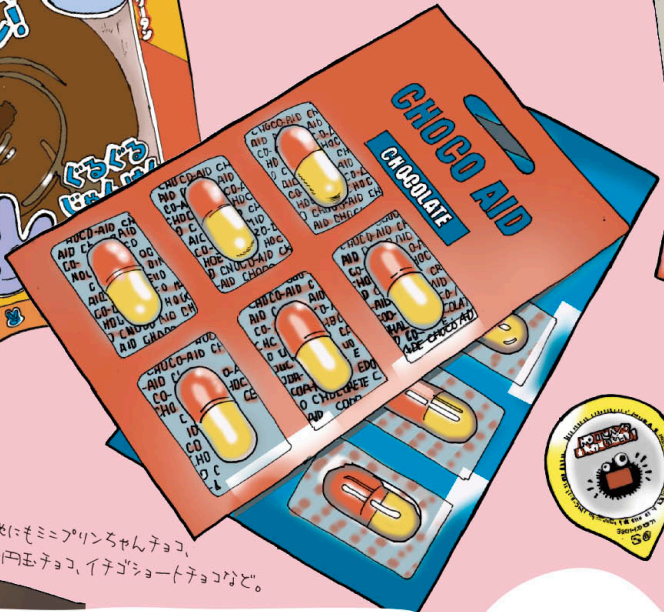
3年前から、中国の企業に、ミミでチョコレートを製造している。日本より気温が高く、ミミが溶けやすいため、知恵を絞って溶けやすいミミを作った。



成型の型を自作できるので、普通のチョコよりコストが少なく、ユニークなものを作ることが出来ます。



サッカーボールチョコを作った時、中にクジを入れました。当社が最初に考えたんです。



他にもミニプリンキャンチョコ、十円玉チョコ、イチゴショートチョコなど。

### 我が社の自慢 **UNIQLOにチョコレートを納品!**

OEM では、大手菓子メーカーからの依頼もあるが、UNIQLO、NOTTV(ノッティーヴィー)といった畑違いの業界から、ノベルティー用としてオリジナリティのある菓子の依頼がくることも。

**株式会社丹生堂本舗**  
http://www.tanseido-honpo.co.jp/  
〒544-0001 大阪市生野区新今里1-4-15  
TEL06-6752-1985 FAX06-6752-7159  
事業内容／食品菓子製造、卸売業